

河床侵食抑制部材および河床侵食抑制工法

登録番号:特許 第6020946号

出願番号:特願2016-095728号 出願日:2016年5月12日 公開番号:特開2016-211366号 公開日:2016年10月14日

発明/考案の名称:河床侵食抑制部材および河床侵食抑制工法

特許権者:国立研究開発法人土木研究所、国立大学法人北海道大学

キーワード 河床侵食抑制、河床、侵食抑制部材、侵食抑制工法**目的**

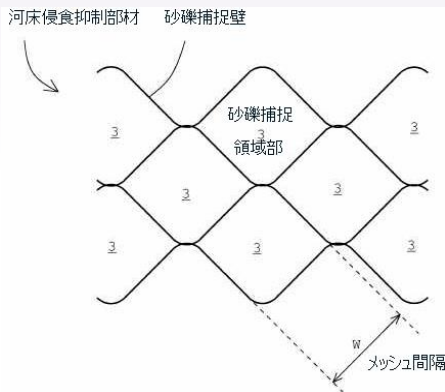
本発明は、河床の粗度を効率よく高めることによって砂礫を捕捉して堆積を促し、河床の侵食を抑制するとともに、魚類の生息・産卵場を増やすことのできる河床侵食抑制部材および河床侵食抑制工法を提供するものです。特に、砂礫が流出してしまった岩盤河川・土丹河川で効果を発します。

効果

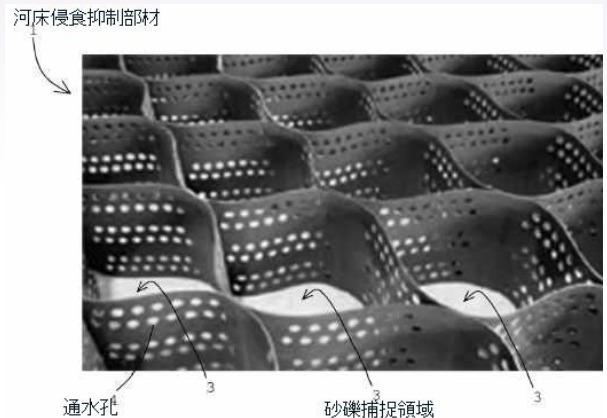
この発明で、河床の侵食を抑制するために河床に設置される河床侵食抑制部材は、平面視で網目状に仕切られた複数の砂礫捕捉領域部を有するとともに、これら各砂礫捕捉領域部を囲っている砂礫捕捉壁の高さが河床における砂礫の平均粒径の0.88倍以上に形成することで、砂礫を速やかに捕捉して河床を被覆し、効果的に侵食を抑制することができます。

技術概要

本発明の河床侵食抑制部材は、河床に設置されて河床の粗度を高めることで近傍の流速を減速させ、水の力によって河床近傍を移動している砂礫を停止・捕捉し、さらにその捕捉した砂礫を河床上に保持して堆積させるためのものであり、平面視で網目状に形成された砂礫捕捉壁を有します。なお、本発明において、粗度とは、河川の水が河床と触れる際の抵抗の度合いを意味するものです。



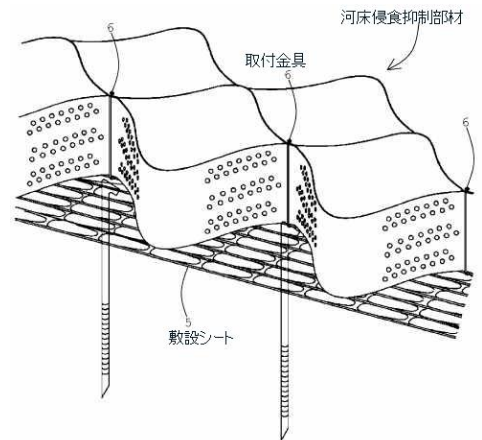
河床侵食抑制部材の平面図



河床侵食抑制部材



実河川における実験状況



部材及び実施形態